

# 「渡良瀬」ナンバーの導入を

## 検討しています

自動車のナンバープレートには、原則として管轄する運輸支局などの名称が表示されますが、一定の条件を満たした地域は、地域名を表示することができず（ご当地ナンバー）。国はこれまでに2回募集し、県内では「前橋」「高崎」ナンバーが誕生しています。

国は、登録台数などの条件を緩和したうえで、3回目のご当地ナンバーを募集中で、認められれば、平成32年度からご当地ナンバーが交付されるようになります。

### ◆導入に必要な条件

(ア) 単独市町村の場合は、車両登録台数が10万台を超えていること。

(イ) 複数の市町村を含む地域を対象とした場合は、車両登録台数がおおむね5万台を超え、かつ地域名表示が相当程度の知名度を有していること。

(ウ) 図柄入りナンバープレートをあわせて導入すること。（左上図参照）

(エ) 対象地域において、住民の合意形成が図られていること。

### ▼ナンバー導入検討の経過

昨年8月に、桐生・太田・みどり市の3市で、「渡良瀬」を候補として、ご当地ナンバーの導入について検討する事務担当者による会議を設置しました。

「渡良瀬」は、地域を象徴する川の名前であり、桐生市歌にも登場し市民にもなじみがある地域名称であることから桐生市もこの会議に参加したものです。なお、桐生市は、車両登録台数が約5万5千台

で、単独でご当地ナンバーを導入することはできません。10月には、3市住民の意向を確認するため、各市1500人を無作為に抽出して市民アンケートを実施しました。

3市合計では否定的な意見が多い結果となり、この結果を踏まえ、桐生・太田・みどり市での「渡良瀬」ナンバー導入の申請は見送ることになりました。（グラフ1参照）

また、このアンケートとは別に、足利市が独自で行った桐生・太田・みどり・足利市を対象領域としたご当地ナンバー導入のアンケート結果では、「渡良瀬」ナンバーに対

する肯定的な意見が多い結果となっています。（グラフ4参照）

これらのアンケートで「渡良瀬」という地域名称に対して肯定的な意見が多かった桐生・みどり・足利市は、3市での導入に向けた検討を継続することになりました。

### ▼アンケート調査にご協力を

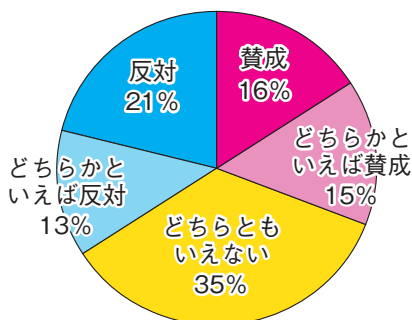
改めて桐生・みどり・足利市の3市で「渡良瀬」ナンバー導入のアンケートを1月中旬に実施します。市が無作為に選んだ人にアンケート用紙を送付しますので、届いた人は回答を記入の上、記載の期限までに投かんしてください。問い合わせは、企画課企画担当（☎内線524）へ。

図柄入りナンバープレートの例

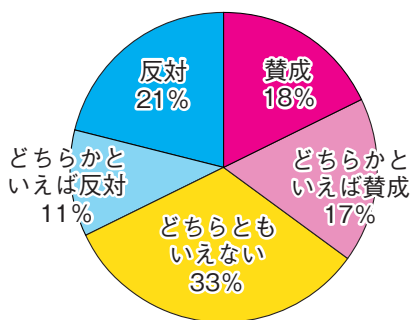


出典：国土交通省資料

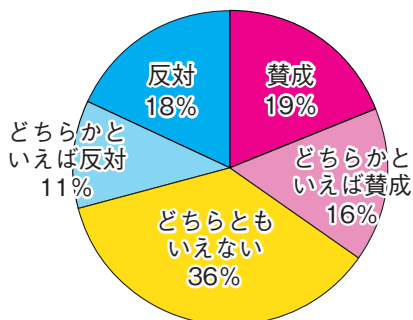
アンケート結果  
(平成29年10月実施)



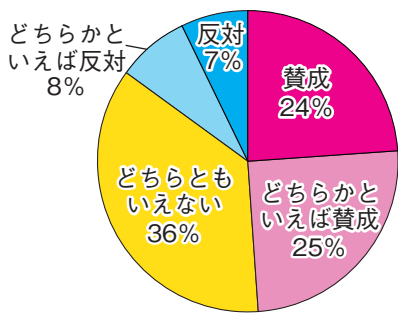
グラフ1：桐生・太田・みどり市合計



グラフ2：桐生市



グラフ3：みどり市



グラフ4：足利市